

令和6年度事業計画

(令和6年6月1日～令和7年5月31日)

令和6年度 事業推進基本方針

1 情勢

世界経済は、米国における堅調な設備投資を背景とした高成長、欧州における実質賃金の増加に伴う消費の持ち直し等により、今年から来年にかけ底堅い成長が続くと見込まれているが、米欧における物価高の再燃、中国経済の失速、中東情勢の更なる悪化という下振れリスクが懸念されている。

また国内では、今年の春闘における賃上げ率上昇により家計の所得環境は改善し、個人消費は持ち直しに転じるとみられる。企業の設備投資は、良好な収益環境や期待成長率の高まりを背景に、拡大傾向が続くとともに、サービス輸出であるインバウンド需要も、増加を続けると予想されている。

自動車産業においては、昨年末からの一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響を受け、令和6年1月には、新車販売台数が前年同月の販売台数を17ヶ月ぶりに下回っており、生産・出荷は段階的に再開されてきたが、5月実績まで対前年比が下回っている。

一方、リサイクル業界においては、令和5年度の使用済自動車の発生台数は、年度実績が分かる平成17年以降において過去最低であった前年を下回る約2,731,000台で、前年比1.4%減という厳しい状況であり、新車の供給制約の改善が進み、使用済自動車の発生源にもなる下取り車や買取車は増えているが、円安を背景とした中古車輸出の需要拡大もあり、使用済自動車の仕入環境悪化の長期化も懸念されている。

2 基本方針

令和6年度は、現下の情勢に的確に対応しながら、健全経営の生命線である入庫台数を確保し、強固な経営基盤の再構築を図り組合員社の利益を確保するため、次の3点を基本方針として取り組むこととする。

- ① 買取制度の展開による組合員社からの計画入庫台数の確保
- ② 収益補完事業としての員外仕入の促進
- ③ イノベーションへの取組（新しい生産方法の導入・新しい販売先の開拓・新しい供給源の獲得・新しい組織の実現）

3 令和6年度事業計画数値目標

○ 入庫台数	5,500 台
○ 処理台数	5,500 台
○ 総収入額	462,220 千円
○ 予備費（経常利益）	10,000 千円

令和6年度 事業計画

○ 在庫台数		5,500	台
上半期		2,740	台 (49.82%)
下半期		2,760	台 (50.18%)
月別台数	6月 450	7月 450	8月 450
	9月 450	10月 450	11月 490
	12月 450	1月 450	2月 450
	3月 510	4月 450	5月 450
○ 処理台数		5,500	台
上半期		2,740	台
下半期		2,760	台
○ フロン回収・破壊量		1,228	kg
対象車両	5,225 台 (5,500 ×	95%)
* 台当り平均		235	g
○ エアバック回収量		10,230	個
対象車両	5,170 台 (5,500 台 ×	94%)
* 内 メーカー破壊依頼数	362 台 (5,170 台 ×	7%)
○ 事業収入総額		462,200	千円
内訳	① 適正処理手数料収入	16,700	千円
	② 金属類等原材料収入	308,000	千円
	③ 部品(輸出含む)収入	137,500	千円

* 収入額算出基礎

① 適正処理手数料収入		処理	5,500	台	
フロン回収破壊手数料収入	95%)	5,225 台 ×	1,560 円 ≒		8,100 千円
エアバック回収手数料収入	94%)	5,115 台 ×	1,680 円 ≒		8,600 千円
			合計		16,700 千円
			平均単価		
② 金属類等原材料収入		5,500 台 ×	56,000 円		308,000 千円
③ 部品(輸出含む)収入		5,500 台 ×	25,000 円		137,500 千円

令和6年度 資産・設備・備品増強計画
及び機械類のメンテナンス費用

① メンテナンス関係		(単位:千円)
* 前処理係		
・ 手持ち工具定期交換・アーク溶接防塵マスク		1,200
・ フォークリフト2台 定期点検修理		300
・ B・Cライン昇降リフト(2機) オイル漏れ		850
・ 第一ライン 台車走行車輪ガイド交換		350
・ 第二ステーション、昇降リフトチェーン交換		620
・ 溶接フェーム定期点検・高圧ガス講習等		205
	小計	3,525
* 解体係		
・ 解体機 燃料費		1,500
・ ニブラ定期点検		1,532
・ 発電機3台・溶接機・秤機 点検修理		150
・ フォークリフト定期点検 3機分		280
・ プレス機作動油・リレー交換		990
	小計	4,452
* 車両係		
・ アクティ・ステップワゴン・三菱W・アトレーワゴン定期点検修理		330
	小計	330
* 部品係		
・ 床上クレーン4機 年次点検		228
・ フォークリフト2台定期点検修理・タイヤ交換		300
・ 教材エンジン用木製パレット		240
・ 消耗品(作業指示書,ホイール洗剤等)		200
	小計	968
* 総務 その他		
・ 廃油廃液装置修理交換(軟水機)・煤煙測定		1,838
・ 廃液・合併浄化槽汲取り費用		830
・ 自家給油所保守・消防設備法定点検他		257
・ 3ステ屋根彩光用ポリカーボネイト交換		300
・ CO測定器年次点検		408
・ 排水路水質検査		67
・ 事務所入口塗装・垣根レッドロビン剪定		400
・ 資格取得等講習料、メンタルヘルス費用		320
・ 職員制服		400
・ 見学研修費		600
	小計	5,420
設備、メンテナンス費用	合計	14,695
② リース資産関係		
・ フォークリフト部品課新規代替(5年:総額1,860千円)年間リース料		327
	小計	327
③ 固定資産		
・ 解体場 甲山置場修理(囲い部位)		3,030
・ プレス機送電装置改修		5,500
・ タイヤハウスシート張替え		608
・ フォークリフトリース修了購入		200
	小計	9,338